

**2025 年度(10 月入学)  
名古屋大学大学院  
博士後期課程  
環境土木工学プログラム  
学生募集要項**

2025 年度名古屋大学大学院博士後期課程の環境土木工学プログラム(英語による教育で学位が取得できる教育プログラム)の学生を本募集要項のとおり募集します。

# 目次

アドミッションポリシー .....	3
I. 出願資格 .....	3
II. 出願要件 .....	4
III. 募集人員 .....	4
IV. 出願手続 .....	5
1. 出願前の注意 .....	5
2. 出願期間 .....	6
3. 検定料の支払い(5,000 円) .....	6
4. 出願書類の提出 .....	7
提出書類一覧 .....	9
原本または原本証明がなされた複写を郵送にて提出 .....	11
オンラインおよびテスト実施機関から直接送付が必要な書類 .....	12
オンラインアドミッションシステムにアップロードが必要な書類 .....	13
5. 障害のある者等の出願 .....	15
V. 選抜方法 .....	15
VI. 合格者発表 .....	15
VII. 入学手続 .....	16
1. 入学料の支払い(282,000 円) .....	16
2. 入学料以外の学生納入金(予定額) .....	17
3. 出願時に修士の学位を授与される見込みの志願者に対する注意 .....	17
VIII. その他 .....	17
IX. 問合せ先 .....	18

# アドミッションポリシー

アドミッションポリシーについては、「全学のアドミッションポリシー」

(<http://www.nuqa.nagoya-u.ac.jp/policies/m.html>)を参照してください。

## I. 出願資格

本プログラムに出願することができる者は、次の1から4のいずれかの出願資格を有する者とします。

1. 外国において修士の学位を授与された者及び 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
2. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者等で、日本の大学院(博士前期課程)において修士の学位を授与された者及び 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
3. 日本の大学院(博士前期課程)において修士の学位を授与された者及び 2025 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者。ただし、英語を主要言語として教育する大学院(博士前期課程)を修了(見込み)した者に限る。
4. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

### 【注】

上記4で出願しようとする者は、各募集区分の**出願締切日の概ね1ヶ月前**を目途に、「[IX. 問合せ先](#)」に記載された出願するプログラムの研究科に申し出て、所定の申請手続きを行ってください。

環境土木工学プログラムへの申請者は、日本政府(文部科学省)による奨学金制度(国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム)に応募することができる可能性があります。奨学金の募集の有無および応募のための資格については、下記ウェブサイトでご確認ください。  
URL: <https://www.civil.nagoya-u.ac.jp/ceeipo>

## II. 出願要件

Iの出願資格を満たした上で、次の要件のいずれか一つを満たすこと。

- (1) 英語以外を第一言語として教育する大学院(博士前期課程)において教育を受けている者にあつては、次の英語検定試験における要件を満たす試験結果を提出すること。
- (2) 英語を第一言語として教育する大学において教育を受けた者は、英語能力試験スコアの証明書提出を免除しますが、大学における第一言語が英語であることを証明する書類を提出すること。本学の様式「卒業(見込み)証明書」を使用する場合には、所属(卒業)大学に必要箇所の記載を依頼すること。

名古屋大学の「卒業(見込み)証明書」様式:

<https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/admissions/graduateprograms/>

英語検定試験 (English Language Proficiency Test)	最低要件 (Qualification (Minimum))	備考 (Remark)
IELTS	Overall band score of 6.0	
TOEFL	80 iBT 60 Paper-delivered Test	TOEIC and TOEFL-ITP are not accepted
Duolingo English Test (DET)	110 and above	
Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)	C1 and above	Must be stated in official transcripts
その他上記と同等以上の英語能力があることを証明する成績証明書がある場合は、出願を希望する研究科「IX. 問合せ先」に e-mail にて事前に確認してください。		

## III. 募集人員

研究科名・プログラム名	募集人員
環境土木工学プログラム (工学研究科) (環境学研究科)	若干名

## IV. 出願手続

### 1. 出願前の注意

- (1) 本学ウェブサイトで専攻・研究室(グループ)・研究分野・研究内容及び教員一覧を参照し、志願票には志望する専攻、研究室(グループ)、教員名を必ず第2希望まで記入してください。  
URL: <https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/graduate-2/laboratories/>
- (2) 配属希望教員の所属研究科を上記ウェブサイトの教員一覧で必ず確認し、出願の際に研究科名を間違えないようにしてください。
- (3) 一つの申請書では一つの研究科にのみ出願することができます。複数の研究科を受験したい場合は、本学オンラインアドミッションシステムで違う二つのアカウントを作成し、それぞれ別に申請書類の提出及び検定料の支払いが必要となります。



### IMPORTANT

#### 出願前の研究内容等に関する問合せについて

出願前に博士論文の研究指導を希望する教員へ研究内容等について問い合わせをしてください。少なくとも第1希望の教員には必ず連絡を取ってください。研究内容等を問い合わせた結果、本学へ出願することとした場合は、[<4.出願書類の提出>](#)に記載されているすべての出願書類等(検定料含む)を、募集区分により定められた期限までに提出してください。

\*事前の研究内容照会の際に、研究室又は希望指導教員に提出した書類がある場合でも、その書類を正式な出願書類としては流用できませんので注意してください。

#### 研究内容以外の問合せについて

研究内容以外の問合せについては、「[IX.問合せ先](#)」に記載された出願するプログラムの研究科へ照会してください。

## 2.出願期間

下記の出願期間中に、全ての出願書類を提出し、検定料を支払ってください。

募集区分	自	至
1次募集	2025年1月6日 9:00 (日本標準時 JST)	2025年1月15日 16:00 (日本標準時 JST)
2次募集	2025年5月7日 9:00 (日本標準時 JST)	2025年5月23日 16:00 (日本標準時 JST)

- (1) 上記の1次募集, 2次募集への出願については、どちらか一方しか出願できません。
- (2) 1次募集の出願期間に、検定料の支払い及び出願書類が揃わなかった場合は、2次募集の区分での取り扱いとします。
- (3) 上記(2)の場合は、その取り扱いをしたことを e-mail またはオンラインアドミッションシステムでお知らせします。

## 3.検定料の支払い(5,000円)

検定料は、出願書類の受領後の確認、選抜等のためのものです。出願に当たっては、指定の方法に従って、オンラインアドミッションシステムから検定料の支払いを[出願終了日時](#)までに行ってください。支払方法の詳細はオンラインアドミッションシステムの支払いページに記載されています。出願書類に不備等があるかどうかのチェックは、検定料の支払を確認した後にのみ行われます。早めの検定料支払を推奨します。各募集の[出願終了時刻](#)より前に検定料全額が支払われなかった場合、選考の対象とはなりません。

### 【銀行送金で支払う場合の注意】

- (1) [出願終了日時](#)までにオンラインアドミッションシステムを通じて送金日時が明記された領収書を提出してください。
- (2) 振込み手数料は振込者負担となります。

### 本学大学院研究科博士前期課程(修士課程)を修了し、引き続き本課程に進学する者

本学大学院研究科博士前期課程(修士課程)を修了し、引き続き本課程に進学する者は検定料を要しません。ただし、本研究科の正規課程在籍者は、出願期間中に「修了見込証明書」を提出する必要があります。提出された書類が確認でき次第、オンラインアドミッションシステム上で検定料免除が適用され、G から始まる 6 桁の受験番号が付与されます。

### 国費外国人留学生

2025年10月1日以降、国費外国人留学生として本学に在学する者は検定料を要しませんが、出願書類の必要書類として「国費外国人留学生証明書」、あるいは名古屋大学大学院(出願プログラムと同じ)が発行した国費留学生「受入内諾書」を提出する必要があります。

提出された書類が確認でき次第、オンラインアドミッションシステム上で検定料免除が適用され、G から始まる 6 桁の受験番号が付与されます。

## 【検定料の支払いに関する注意】

- (1) [出願期間](#)に、検定料の支払いが完了しなかった場合は、出願は認められません。
- (2) いったん大学に納入された検定料は、返還しません。
- (3) 以下に該当する場合で、出願者から申し出があった場合には、納入された検定料を返還します。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。詳細については、国際アドミッションオフィス宛(「[IX.問合せ先](#)」)にお問い合わせください。
  - ア 検定料を二重に払い込んだ場合
  - イ 出願締切後に検定料を払い込んだ場合

## 4.出願書類の提出

出願に当たっては、指定の方法に従って、オンラインでの出願を完了し、かつ、下記に記載された出願期間中に必要書類を提出してください。書類作成の際には、[【出願書類の提出に関する注意】](#)に留意してください。

提出方法は出願書類によって異なります。[提出書類一覧](#)の「提出方法」を参照してください。



### IMPORTANT

#### 出願完了期間:

募集区分	自	至
1次募集	2025年1月6日 9:00 (日本標準時 JST)	2025年1月15日 16:00 (日本標準時 JST)
2次募集	2025年5月7日 9:00 (日本標準時 JST)	2025年5月23日 16:00 (日本標準時 JST)

#### 原本または原本証明がなされた複写の提出が必要な出願書類の提出期限:

募集区分	原本または原本証明がなされた複写の提出が必要な出願書類の提出期限
1次募集	2025年2月1日(日本標準時 JST)
2次募集	2025年6月10日(日本標準時 JST)

原本または原本証明がなされた複写の提出が必要な書類については上記を提出締切日とします。これらの書類は上記期限までに国際アドミッションオフィス宛に必着でお送りください。

[提出書類一覧](#)の i, ii については必ず原本または原本証明がなされた複写を指定期日までに提出してください。

#### 出願書類提出先:

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学 国際アドミッションオフィス 国際入試係  
TEL: +81-52-747-6556

## 【原本または原本証明がなされた複写の提出が必要な出願書類を郵送する場合の注意】

原本または原本証明がなされた複写の提出が必要な出願書類を郵送にて提出する際は、以下の注意事項をご確認ください。尚、詳細は[提出書類一覧](#)を参照してください。

- (1) 出願書類を郵送する際は 12 桁の出願者 ID, 出願者の氏名, プログラム名を封筒に記載してください。  
[出願期間前](#)に郵送する場合は、出願者IDの記載は不要です。出願者 ID は、オンラインアドミッションシステムに登録すると発行されます。  
システムにアクセスする前に書類を郵送する場合は、出願者 ID の代わりにプログラム名を封筒に記載してください。  
(例)  
プログラム名:  
環境土木工学プログラム名(博士後期課程)  
工学研究科:DCivEg  
環境学研究科:DCivEs
- (2) 書留速達郵便又はそれと同等の航空宅配便(例えば, Federal Express, DHL, UPS, 等)によって送付することを推奨します。
- (3) 配達状況をオンラインで確認できる追跡番号を必ずお手元に保管してください。非常に多くの出願書類を受け付けているため、送付された出願書類が本学に到着した旨の個別の通知はしません。
- (4) ホチキス止めをしないで提出してください。
- (5) 原本または原本証明がなされた複写は[提出締切日](#)まで受付可能ですが、指定期日まで原本が提出されない場合には、本学への出願を辞退したのものとして取り扱います。また、オンラインアドミッションシステムで提出された書類と郵送で提出された原本に、不正とみなされる差異が見つかった場合も、出願を認めません。



## 提出書類一覧

出願書類は、下記の表を参照してください。

提出書類はすべて英語で作成してください。英語でない書類については[【原本または原本証明がなされた複写に関する重要な注意】](#)をご確認ください。

出願書類等 i と ii については必ず原本または原本証明がなされた複写を提出してください。原本証明がなされた複写は発行機関の公印もしくはサインが必要です。

本学大学院工学研究科および環境学研究科博士前期課程環境土木工学プログラムから引き続き博士後期課程本プログラムに志願する者は、i, ii, iv, v, x, xi を提出してください。

名古屋大学に研究生として在籍している者は、在学証明書を含めた以下の出願書類等を提出してください。

○:提出必要  
—:提出任意

※過年度修了生や G30 環境土木プログラム以外の博士前期課程を修了見込みの者は全ての必要書類を提出すること。

✓		出願書類等	ファイル形式	提出方法	G30 環境土木プログラム 博士前期課程 修了見込みの者※
○	i	出身大学(学部及び修士課程)の卒業(修了)証明書(又は見込証明書)	PDF	オンライン提出	○
			原本または原本証明がなされた複写	郵送	○
○	ii	出身大学の学部及び修士課程の学業成績証明書	PDF	オンライン提出	○
			原本または原本証明がなされた複写	郵送	○
○	iii	英語資格試験の成績通知書	PDF	オンライン提出	—
			紙媒体 あるいは電子スコア	テスト実施機関から直接送付	—
○	iv	志願票	オンラインフォーム	オンライン入力	○
○	v	研究提案	PDF	オンライン提出	○
○	vi	推薦書 2 通 (推薦者から直接提出)	PDF	推薦者から直接送付	—
○	vii	修士学位論文の要旨	PDF	オンライン提出	—
	viii	代表的な発表論文 (ある場合)	PDF	オンライン提出	—
	ix	その他アピールできる点に関する書類 (ある場合)	PDF	オンライン提出	—
○	x	国籍及び在留資格を確認できるもの	PDF	オンライン提出	○
		在留カードの両面の写し (日本国内に住んでいる外国籍の方)			該当する場合
	xi	在学証明書 (出願時に本学に在籍する者)	PDF	オンライン提出	該当する場合
	xii	国費外国人留学生証明書 あるいは 名古屋大学大学院が発行した受入内諾書 (国費外国人留学生以外は提出不要)	PDF	オンライン提出	該当する場合
	xiii	検定料の支払い証明書 (銀行送金で支払った場合のみ)	PDF	オンライン提出	—

## 原本または原本証明がなされた複写を郵送にて提出

次の出願書類については必ず原本または原本証明がなされた複写を提出してください。

### i. 出身大学(学部及び修士課程)の卒業(修了)証明書(又は見込証明書)

証明書(見込証明書)には、卒業(見込)年月(日)の記載、学位の種類、及び学校の公印もしくはサインが必要です。出願資格に関連する証明書を提出してください。一度提出された書類は返却できません。また、学位記原本での出願はできません。卒業(修了)証明書の再発行が不可能な場合は、卒業(修了)証明書そのものではなく、原本証明がなされた複写を提出することを強く推奨します。原本証明がなされた複写については、**【原本または原本証明がなされた複写に関する重要な注意】**をご確認ください。

II.出願要件(2)により出願しようとする者は、卒業(修了)証明書(又は見込証明書)に加え、卒業(見込)大学院(博士前期課程)の教育が英語で実施されている旨を記載した証明書も併せて提出してください。(様式任意) 本学の様式は下記のリンクからダウンロードできます。

<https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/admissions/graduateprograms/>

### ii. 出身大学の学部及び修士課程の学業成績証明書

成績証明書には、学校の公印、もしくはサインが必要です。あわせて、成績評価基準書を提出してください。応募者の GPA を適切に評価するために、明確な評価基準(例:S=90-100, A=80-89, B=70-79, C=60-69)の記載が必要です。もし評価基準がなく、素点だけがある場合には、満点および最低点に関する情報が求められます。

## 【原本または原本証明がなされた複写に関する重要な注意】

次の(1)から(4)に該当しない場合や不明な点がある場合は、出願するプログラムの研究科に問い合わせてください。

- (1) 原本または原本証明がなされた複写には、学校の公印、もしくはサインが必要です。  
学校の公印、もしくはサインがないコピーは原本証明がなされた複写として受け付けられません。
- (2) 出願者本人によって作成されたコピーは受け付けられません。
- (3) 出願書類を郵送する場合は、次の要件を満たしたもののみを原本もしくは原本証明がなされた複写として取り扱います。
  - ア) 発行機関である学校又は当局によって署名、または厳封された書類
  - イ) 発行機関である学校又は当局によって原本証明された書類
  - ウ) 公証人によって認証された書類
- (4) 発行機関である学校又は当局は、英語以外の言語で作成された全ての書類を英語に翻訳し、原本と同じであることを保証する必要があります。学校又は当局がこれを行わない場合は、外部の翻訳機関に依頼して翻訳・確認された書類を、発行する学校又は当局が同じであることを保証する必要があります。また、翻訳前の元の書類と同等性が保証された翻訳書類の両方を提出してください。出願者本人が翻訳したものは認められませんのでご注意ください。

## オンラインおよびテスト実施機関から直接送付が必要な書類

次の書類は、ご自身がオンラインでも提出し、テスト実施機関を通して送付する必要があります。  
以下の指示に従ってください。

### 送付手順:

- ① オンラインアドミッションシステムに電子媒体のスコアレポートをアップロードしてください。  
スコアレポートはスコアと出願者の名前が同時に確認できるものに限ります。
- ② テスト実施機関より締切日までにオフィシャルスコアが直接名古屋大学に届くように手続きをしてください。スコアレポートは紙、電子媒体のどちらで提出しても同等にオフィシャルスコアとして取り扱われます。出願者本人から提出された紙のスコアレポートは受理できませんのでご注意ください。スコアレポートが到着するまで時間がかかる場合があるので、余裕をもって提出してください。

### iii. 英語資格試験の成績通知書

英語資格要件(上記 [II 出願要件](#) 参照)を満たす成績通知書を提出してください。

テスト実施機関から、出願締切日までにオフィシャルスコアが直接届くよう手続きをしてください。

\*なお、すべての試験において、2023年1月以降に受験した試験のスコアのみを有効とします。

TOEFL 機関コード:7256

IELTS:Nagoya University International Programs

Duolingo English Test: Nagoya University Graduate Admissions

## オンラインアドミッションシステムにアップロードが必要な書類

次の書類は、オンラインアドミッションシステムにアップロードして、提出して下さい。郵送による原本は不要です。郵送されて重複した原本は、出願書類に含めません。

### iv. 志願票

本学オンラインアドミッションシステムより提出して下さい。

<https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/admissions/graduateprograms/>

### v. 研究提案

大学院での研究提案(A4 用紙2枚程度)をオンラインアドミッションシステムにアップロードして、提出して下さい。審査の過程で、希望する指導教員が「研究提案」に関し、直接問合せることがあります。

### vi. 推薦書 2 通

推薦者2名からの推薦書をオンラインで推薦者から直接本学に提出して下さい。

#### 送付手順:

- ① 志願者がオンラインアドミッションシステムの志願票. Information of Referees に推薦者のメールアドレスを入力すると、自動的に本学システムから推薦者にメールが届きます。
- ② 推薦者のメールアドレスは、推薦者の所属機関固有のドメインを含むメールアドレスに限ります。推薦者が所属機関固有のドメインのアドレスを所有していない場合は、推薦者が厳封の上、原本を郵送して下さい。(期日までに必着)
- ③ 推薦書は、推薦者の所属機関のレターヘッドで作成して下さい。押印したものを PDF に変換し、推薦者がオンラインアドミッションシステムにアップロードして下さい。
- ④ 推薦者は、メールの案内に従って推薦書を提出して下さい。

#### 【注】

- (1) 推薦書は必ず出願期間内に提出して下さい。
- (2) 本学システムからメールが届かない場合、迷惑メールフォルダに振り分けられている可能性がありますので、迷惑メールフォルダもご確認ください。本学システムからメールが届いていない場合は、推薦者は e-mail で 出願期間内に推薦書を提出して下さい。この場合においても、推薦者は所属機関固有のドメインを含むメールアドレスから送信する必要があります。  
12 桁の出願者 ID と出願者の氏名をメールの件名に記載して下さい。  
件名: 推薦書 出願者 ID 出願者氏名  
Email to: [g30grad-app@t.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:g30grad-app@t.mail.nagoya-u.ac.jp)
- (3) 推薦者が所属機関固有のドメインのアドレスを有していない場合は、推薦者が厳封の上、国際アドミッションオフィス宛に原本を郵送して下さい。郵送に際しての注意事項や郵送先は、[4.出願書類の提出](#)をご確認ください。

### vii. 修士学位論文の要旨

修士学位論文の要旨を本学所定の用紙に英語で記述の上、オンラインアドミッションシステムにアップロードして、提出して下さい。

現在、研究を遂行中の場合は、進捗状況や予想される結論について記入して下さい。

また、すでに卒業研究が終了している場合は、論文のコピーもアップロードして提出して下さい。

ただし、論文本体は英語で執筆されている必要はありません。

所定用紙ダウンロード URL: <https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp>

### viii. 代表的な発表論文（ある場合）

代表的な発表論文の別刷 3 点以内をオンラインアドミッションシステムにアップロードして、提出してください。

### ix. その他アピールできる点に関する書類（ある場合）

オンラインアドミッションシステムにアップロードして、提出してください。

### x. 国籍及び在留資格を確認できるもの

顔写真, 名前(フルネーム), 国籍, 生年月日を含む公的な証明書をオンラインアドミッションシステムにアップロードして、提出してください。例えば, パスポートのコピー, 在日公館の証明書, 政府発行の ID のコピー等(英語で作成されたものとし, 英語以外の場合は英訳文を添付してください。)です。

日本国内に住んでいる外国籍の方は, 在留カード両面の写しを併せて提出してください。

### xi. 在学証明書（本学在籍者以外は提出不要）

本学大学院研究科博士前期課程(修士課程)を修了見込みの学生及び研究生は, オンラインアドミッションシステムにアップロードしてください。日本語による証明書で可。

### xiii. 検定料の支払い証明書（銀行送金で支払った場合のみ）

送金日時が明記された領収書を [出願終了日時](#)までにオンラインアドミッションシステムにアップロードしてください。

## 【出願書類の提出に関する注意】

- (1) 出願に要する書類等の全てを [締切日](#)までにオンラインアドミッションシステム上で受領した場合に限り, 出願を認めます。 [出願期間](#)に, 出願書類が揃わなかった場合もしくは提出された書類等に不備がある場合には, 出願を認めません。また, 出願を受理した後の出願書類等の変更は認めません。
- (2) [所定の期限](#)後に到着した出願書類は受理しません。
- (3) 出願書類の原本については, [出願期間](#)前でも受理します。
- (4) 各種証明書において, 科目名, 成績評価等が符号, 略字等により表示されている場合は, 説明書を添付してください。
- (5) いったん受理した出願書類等は, 再発行ができない出願資料等も含めて, いかなる理由があっても返却しません。
- (6) 志願票はじめ出願書類等に虚偽の記載をした場合, 記載すべき事項を記載しなかった場合又は提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は, 入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (7) 出願書類に不備等があった場合, オンラインアドミッションシステム上のメッセージ送信機能によりお知らせしますので, 定期的に確認してください。メッセージが確認できない場合は, 国際アドミッションオフィスまでメールでお知らせください。

## 5. 障害のある者等の出願

障害のある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ相談してください。

(提出書類は、英語で作成すること)

(1) 相談の時期

2024年12月5日まで

(2) 相談先

名古屋大学 国際入試係 国際アドミッションオフィス

(3) 相談の方法

以下の3点の書類を提出してください。なお、必要に応じて、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- 1) 出願予定のプログラム、志望専攻、障害等の状況、受験上の配慮を希望する事項等に志願者本人の連絡先を記載したもの(様式は自由、用紙はA4サイズ)
- 2) 障害等に関する医師の診断書又は、ソーシャルワーカーの意見書など(いずれの場合もコピーでも構いません。)又は身体障害者カード等それに準ずるもののコピー。
- 3) 出身学校関係者の添え書(学校における修学状況及び学習上の配慮状況等を記載したもので、様式は自由、用紙はA4サイズ)

(4) その他

受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までにお問い合わせください

## V. 選抜方法

1. 入学者の選抜は、1次審査(書類審査)及び2次審査(面接:日本在住でない場合は、原則として、Zoom等を利用したインタビュー)にて行います。
2. 1次審査(書類審査)の結果は出願した研究科から e-mail により通知します。
3. 1次審査(書類審査)合格者に対しては、2次審査(面接)の日程もあわせて出願した研究科から e-mail により通知します。
4. 2次審査(面接)は、専門分野の基礎的な知識に関する口述試験を含みます。

## VI. 合格者発表

下記の表の選考結果通知期日に「志願票」に記載された情報に基づいて e-mail により出願した研究科から受験者に通知します。また、合格者はオンラインアドミッションシステムにログインして確認することもできます。なお、ウェイトリスト者には e-mail により別途通知します。

募集区分	最終選考結果通知期日
1次募集	2025年3月19日(日本標準時 JST)
2次募集	2025年7月3日(日本標準時 JST)

## VII. 入学手続

入学手続に関する書類は、合格通知書と一緒に合格者あてに送付します。入学料の納入が必要となりますので、指定の方法に従って、入学料の支払いを支払期限までに行ってください。

### 1. 入学料の支払い(282,000円)

入学の権利を得るための入学料は、合格通知書とともに出願したプログラムの研究科から送付する入学手続要領を参照のうえ、オンラインアドミッションシステムから下記の日時までに払い込んでください。支払方法の詳細はオンラインアドミッションシステムの支払いページに記載されています。

#### 支払期限:

募集区分	入学料払い込み期限
1次募集	2025年4月3日 16:00 (日本標準時 JST)
2次募集	2025年7月11日 16:00 (日本標準時 JST)

#### 【銀行送金で支払う場合の注意】

- (1) 支払期限までにオンラインアドミッションシステムを通じて送金日時が明記された領収書を提出してください。
- (2) 振込み手数料は振込者負担となります。

#### 入学料免除の該当者について

次に該当する者は入学料の納入は不要です。

- 本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程へ進学する者
- 国費外国人留学生

#### 【入学料の支払いに関する注意】

- (1) 所定の期限までに払い込まない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱いますので、十分に注意してください。
- (2) 入学時までに入学金の改定が行われた場合には、新たな入学金額が適用されます。
- (3) 納入済の入学金は返還しません。ただし、以下に該当する場合で、出願者から申し出があった場合には、納入された入学金を返還します。なお、返還にかかる手数料は差し引かせていただきます。詳細については、国際アドミッションオフィス宛にお問い合わせください。
  - ア 入学金を二重に払い込んだ場合
  - イ 期限後に入学金を払い込んだ場合



## 2.入学料以外の学生納入金(予定額)

プログラム	授業料	学生教育研究災害傷害保険料 (学研災付帯賠償責任保険を含む。)
環境土木工学プログラム	前期分 267,900円 年 額 535,800円	3,620円(3年間)

### 【注】

- (1) 入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。
- (2) 授業料は、入学後に納入してください。
- (3) その他、入学に必要な手続の詳細は、入学手続要領を参照してください。
- (4) 国費外国人留学生は、授業料は免除されます。

## 3.出願時に修士の学位を授与される見込みの志願者に対する注意

出願時に修士の学位を授与される見込みの志願者は、2025年8月1日までに、学位(修了)証明書及び学業成績証明書を名古屋大学に提出してください。

なお、上記期日までに証明書の提出ができない場合、事前に「IX.問合せ先」に記載された出願されたプログラムの研究科まで連絡してください。

## VIII. その他

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「東海国立大学機構個人情報保護規程」に基づき、適切に管理します。
2. 出願時に得た住所、氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用します。
3. 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の資料の作成のために利用します。また、入学者についてのみ(1)教務関係(学籍・修学指導等)、(2)学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、(3)授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
4. 募集要項中に記載されている日時は、いずれも日本標準時 JST(UTC+9:00 時間)とします。
5. 名古屋大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を行っています。2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、出願の際、オンラインアドミッションシステム (<https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp>)により「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合があるので注意してください。

## IX. 問合せ先

募集要項や出願前の研究内容等に関する質問は、出願する研究科にメールにて問い合わせてください。

海外からの問い合わせはメールにてお願いします。

問い合わせのタイトルに、出願者氏名、希望する研究科及びプログラム名を明記してください。

プログラム名:

環境土木工学プログラム(博士後期課程)

工学研究科:DCivEg

環境学研究科:DCivEs

件名:

出願者氏名\_〇〇研究科\_DCiv...

### 【工学研究科】

〒464-8603

名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科 教務課留学生係

電話: +81-52-789-3972

E-mail: [admin-eng.g30@engg.nagoya-u.ac.jp](mailto:admin-eng.g30@engg.nagoya-u.ac.jp)

### 【環境学研究科】

〒464-8601

名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院 環境学研究科大学院係

電話: +81-52-789-4590/4272

E-mail: [env@t.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:env@t.mail.nagoya-u.ac.jp)

「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に関する質問は下記までお願いします。

### 【国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム・奨学金制度】

International Student Office Civil Engineering

電話: +81-52-788-6050

E-mail: [fso@civil.nagoya-u.ac.jp](mailto:fso@civil.nagoya-u.ac.jp)

オンラインアドミッションシステムの操作に関する質問は下記までお願いします。

### 【名古屋大学 国際入試係 国際アドミッションオフィス】

問い合わせの際は、12桁の出願者IDと出願者の氏名をメールの件名に記載してください。

件名:〇〇に関する問合せ\_出願者ID\_出願者氏名

E-mail: [apply@g30.nagoya-u.ac.jp](mailto:apply@g30.nagoya-u.ac.jp)

電話: +81-52-747-6556